



第33号平成20年2月24日  
作成者 池部 徹  
.. 質と量の実際パート1 ..

## 「そんなに練習しても質を上げんと上達せんばい！」

その言葉は、その後の人生“質と量”を考えて行動する大切なきっかけになりました。

あれは確か6年前の夏のことです。私は、人生初のギター弾き語りライブのために自宅で必死に練習していました。完璧に弾けるように少しの間違いにもこだわり固い表情の私に対して、ちょうど遊びに来ていた音楽仲間の先輩から言われた一言がそれでした。

「先輩、それはどういうことですか？」

「本番が近づいて緊張するばかりだろ！」

熊本  
のアケド

友達集めて聴いてもらうか、今から下通りでストリートでもやってみたい。

結局、緊張して失敗したしこたい！」と...



そして私は、新市街アーケードで一生一回きりのストリートミュージシャンに挑戦することになりました。見知らぬ人が立ち止って聴いてくれたり、遠くから眺めている人等...緊張で一杯一杯でしたがなんとか無事に3曲弾き終えることが出来ました。感想ですが、確かに自宅でCDに合わせて10回練習するよりも人前での1回は貴重な体験になりました。

ですから皆さん、何か行き詰まりを感じたときは、一旦立ち止まって“質と量”について考えてみませんか？

そうすれば次の成長が見えてくるかもしれません。

（インターネットの“youtube” → “勇気は機関車”でオリジナル曲含む4曲のライブ映像をアップしています。ぜひ、御笑覧あれ〜！）